

『間伐材で木工体験』

間伐・商品化・加工・販売

幅広い活動を通して市民参加型森づくり

町おこしの「グリーン工房」から間伐材をアピール

グリーンボランティア「森林づくり三重」

〒514-0954 三重県四日市市渠女町177-1

Tel&Fax.059-346-2506

代表兼事務局長 池田輝明

森林づくり体験からグリーン工房まで活動は多岐にわたっている

「国民参加の森林づくり運動」の気運が高まり森林ボランティア団体が全国に広がり、三重県と(社)三重県緑化推進協会が「グリーンボランティアになりませんか」という呼びかけをおこなった。この呼びかけで集まった方々が、研修会を重ね、立ち上げた組織が、グリーンボランティア「森林づくり三重」で、2000年に発足した。

各県の後援し団体が多くできたのはちょうどこの頃だ。本会は、「県民参加の森林づくり」として、人と自然が共生する豊かな森林を、楽しみながらつくっていくと共に、グリーンボランティアの輪を広げ、大切な地域の森林や緑地を次世代に伝え残すことを活動の目標にして、活動を多岐にわたって行っている。

ただ、他県と違うところは県を4区域に分け、それぞれに支部を置き、間伐・下刈り等森林整備からベンチ・案内板制作や木工体験等地域に根ざした幅広い作業で多くの人に体験参加してもらうような活動を行っている。支部間の連携は各フィールドの情報を連携したり、参加者も自由に参加できるようになっている。

より多くの人が参加して森林に実態を知ってもらう。

グリーンボランティア「森林づくり三重」(池田輝明代表)の現在の会員数は約200名で、企業などから委託されている民有林をふくめた約10箇所(約10箇所)の森林の間伐、枝打ちを定期的に行っている。北勢町悟入谷国有林、菟野町泉民の森、菟野町尾



高高原ヒノキ林、関町香掛、菟野町岩倉、大宮町中出、名張市東山ふれあいの森、熊野市五郎町かやの木園、鈴鹿市大久保林地、四日市西坂部孟宗竹林等県内各



地に広がっている。

99年11月に設立(初代表小林貞佳氏)以来、安全を確保しながらレベルアップ、活動の活性化、多様性を進めて来ているという。活動フィールドは三重県内の国有林・県市有林、および民有林の十数カ所のフィールドで活動を行っている。いなべ市藤原町の国有林や亀山市関町の民有林は、手入れ不足になっているスギ・ヒノキの人工林を対象に、大径木の豊豊かな健全な森にしようと除間伐や下刈りを継続的に行っている。竹林整備では、黒山を荒廃させている孟宗竹林などの伐採を行う。さらに、企業支援では、いなべ市の悟入谷国有林において、NTTドコモ東海やローソン関係者の森林作業体験の指導を行っている。



森林環境教育や安全研修で会員のスキルアップにつながる。

次世代を担う子供たちに、会員が作った紙芝居で森林の役割を説明したり、手づくりの木製カ(エモカと呼んでいる)で遊びながら森林の大切さを感じてもらっている。会員にとってもこれまでの活動で得た体験を子供たちに伝える喜びも感じている。



さらに、森づくりへの活動が盛んになるにつれて、安全対策も重要な問題と捉えて「三重県森づくり安全技術・技術地域推進協議会」を立ち上げた。この



制度を取り入れるために昨年から準備を進め、静岡県ボランティア団体が行っている森づくり安全技術技術習得制度の試験を受け、8名がランク3を取得した。安全に作業を行っていくためにも、三重県に『三重県森林づくり安全技術技術習得地域協議会』を立ち上げなければならないという思いだった。

湯の山温泉「グリーン工房」

間伐材を利用した木工体験ひろば

森づくり三重の活動は、森林整備だけでなく、地元と連携し菟野町湯の山温泉で、間伐材の有効利用の施設として「グリーン工房」を運営している。毎週、日曜日に椅子やペンダントなどを作る木工体験が体験できるイベントを開催。観光客に対して、間伐材の枝等を利用した小物掛け、ペンダント、ジグソーパズル、カレンダー、椅子などを自作するのを会員が指導し1時間ほどで仕上げ、来客者に喜ばれている。また上記の木工製品も販売されている。



「グリーン工房」は木の香りいっぱいの工房で、県内外からの家族連れや女性グループが、木工作

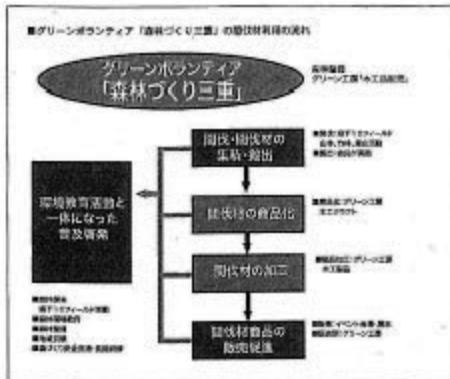


装を楽しんでいるです。この活動は、湯の山温泉の町おこしにも一役買っている。

地域貢献する間伐材利用

間伐材利用では、森林づくり三重の活動を多様に活かしているのは、湯の山温泉の「グリーン工房」の運営から、木工製品を一般の方へ直接アプローチできることにある。さらに県内各地に広がる10箇所フィールドの森林整備の経験があるからである。

湯の山温泉から街を活性化したいとの希望により、会員が間伐材を加工し休憩ベンチ製作した。御在所ロープウェイ駅など20脚も作った。さらに登山道には道標を立てたり、眺望ができるように間伐材の丸太を利用した展望台までも製作するなど観光客に喜ばれている。また、温泉内にある大石公園の散策道路の安全柵、杖などを製作して設置した。



今後の計画

- ・手入れ不足の森林の間伐・枝打ち等を幅広く推進する。
- ・関係者との連携による町おこし・環境教育の強化。
- ・安全技術・技能の更なる向上。
- 「三重県森づくり安全技術・技能地域協議会」の中核として、安全技術力、指導力の向上と市民活動の活発化を図る。
- ・行政、隣接推進協会、他団体とのネットワーク、盛力体制を強化する。
- ・活動を円滑に進めるため、会員増強、組織・財務力をアップさせる。